

しらせたいものをよく見て、文しょうをかこう

中心学習材 「しらせたいな、見せたいな」(光村図書1年下)

＜付けたい力＞
 ◎書こうとする題材に必要な事柄をよく観察して集める力 (書ア)
 ○見つけた事柄の順序を考え、語と語や文と文の続き方に気を付けて書く力 (書ウ)

＜単元を貫く言語活動＞
 身近な生き物を観察して、記録する文章を書く。

＜主体的な思考・判断・表現を促す手立て＞
 ◎学校の周りの生き物探しをして関心を高めたり、飼っている生き物の世話を通して愛着を深めたりできるようにし、「家族に知らせたい」「書いてみたい」という思いを膨らませることで相手意識や目的意識を明確にもてるようにする。
 ◎第2次で、「見つけたよカード」から「短冊カード」、学習材のモデル文へのつながり確かめながら視写をすることや、モデル文を繰り返し音読することで、文章の構成を捉えられるようにする。

1 子どもと単元について

(1) 子どもの実態

前単元では、あさがおの成長について、学習材にある観察の観点(大きさ、色、形等)ごとにメモを書き、その観点を主語にした文を書く学習を行った。「～くらいの大きさ」や「～みたいな形」等、具体的で分かりやすい表現を使うことができるようになってきている。対象をより詳しく観察して文を作り、順序を考えてつながりのある文章にすることは、本単元での学習が初めての経験となる。

(2) 学習材について

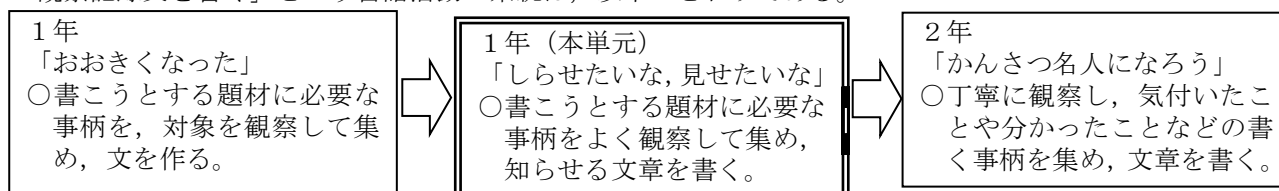
中心学習材「しらせたいな、見せたいな」は、知らせたいものをよく観察し、書くことを明らかにさせてから文章を書くという内容で構成されている。観察したことを記録文にするために、観察したことを絵と言葉でカードにかくところから始める。それらを基に文を作り、知らせたいことが相手に伝わるように、順序を考えて文章を書くというものである。口頭で伝えることは日常的に行っているが、対象をよく観察して文章に書き、書いた文章を読んでもらうことで、「書いて知らせる」ことの楽しさや達成感を味わうことができる。また、知らせる相手を意識することで、詳しく観察したり分かりやすく書こうという意欲を高めたりすることができると考えられる。書くことを楽しみながら、書こうとする題材に必要な事柄をよく観察して集め、語と語や文と文の続き方に気を付けて書く力を身に付ける上でふさわしい学習材であると考えられる。

(3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「身近な生き物を観察して、記録する文章を書く」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

<p>〈取材〉 「見つけたよカード」に絵を描き、色、形、大きさ等を短い言葉で書く。</p>	<p>〈構成〉 ①知らせたいもの ②観察したこと</p>	<p>〈記述〉 〈推敲〉 ・「短冊カード」に一つの事柄につき、一つの文を書く。 ・「短冊カード」を並べ替え、考えた順序で、つながりのある文章を書く。 ・句読点、助詞、文末表現(～です。～ます。)</p>	<p>〈交流〉 新しく知ったことや表現のよさを伝え合う。</p>
---	--------------------------------------	---	--------------------------------------

「観察記録文を書く」という言語活動の系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にします。

一つ目は、子どもたちが、知らせたい、書きたいという思いを抱いて学習に臨むことができるようにすることです。そのために、生活科の学習等で、学校の周りを探検して生き物を探して観察カードに書きためたり、見つけたものを交流したりして関心を高める。また、教室で飼っている生き物とのふれあいや世話を通して愛着を深めることができるようにします。これらの活動体験について、第1時で話し合う時間を十分にとり、書きたいもの、知らせたいものを思い起こすことができるようにします。そして、知らせる相手を家族という身近な人に設定し、「みんなが分かるように書きたい。」という気持ちを膨らませながら学習計画を立てる。分かりやすく書いて知らせたい、という意欲を高め、相手意識や目的意識を明確にもつことができるようにしたい。

二つ目は、対象をよく観察して、色、形、大きさ等の特徴を言葉で書く力を高めることである。観察の観点や様子を表す言葉については、既習の「おおきくなった」や生活科の観察等を通して、表現するために必要な語彙は少しずつ増えてきてはいるが、十分とはいえない。観察をする際には、できるだけ具体的な言葉で「見つけたよカード」に書くことができるようにしたい。また、「見つけたよカード」に書いた後、参考になる観点や表現の仕方を交流し、相手に伝わる、より適切な表現を見つけることができるようにしたい。

三つ目は、見つけたことを基に文を作る力を高めることができるようにすることである。学習材のモデルを使い、「見つけたよカード」に書かれていることを「短冊カード」を使って一つ一つ文にしていく。次に、「短冊カード」と照らし合わせながら学習材の「観察記録文」を視写する。その際、前時までに書いた「見つけたよカード」と「短冊カード」がどのように「観察記録文」に反映されているか、観点ごとに色分けをして視覚的に捉えさせる。また、学習材のモデル文を繰り返し音読することで、文章の構成を捉えられるようにする。ここまでの学習を生かして、第5時から、共通題材を使って「見つけたよカード」から「短冊カード」、「観察記録文」の流れで書き、さらに、第3次では、子どもたちそれぞれが選んだ自由題材を使って書いていくことができるようにしたい。

これらを通して、書こうとする題材に必要な事柄をよく観察して集め、語と語や文と文のつながりに気を付けて書く力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

○知らせたいものについて、よく見て書こうとする。 【関心・意欲・態度】

◎書こうとする題材に必要な事柄をよく観察して集めることができる。 【書くことア】

○見つけた事柄の順序を考え、語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。 【書くことウ】

○句読点の打ち方と主語と述語の関係に注意して書くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ(オ)(カ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○観察したことを書いて知らせることに興味をもち、詳しく観察したり分かりやすく書こうとしたりしている。	◎観察の観点に沿って詳しく観察し、見つけた特徴を言葉でカードに書き込んでいる。 ○「短冊カード」を並べ替え、語と語や文と文の続き方を考えて文章を書いている。	○主語と述語の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。

4 学習指導計画（全11時間）

【主な段階】

生活科
学校の周りを探検し、秋を探す。

第1次
単元の学習について、課題意識と見通しをもつ。
(1時間)

第2次
観察の仕方や文章の書き方を理解し、観察したことを記録する文章を書く。
(7時間)

第3次
自分が選んだ題材について文章を書き、書いた文章について感想を交流し、単元の学習を振り返る。
(3時間)

【他教科活用場面】
身近な場所や自然などを観察し、必要な事柄を集めてカードに書きまとめる。
(生活科の学習)

【主な学習活動】

学校の周りを探検して草花、虫などを探したり生き物の世話をしたりする。

①学校の周りの草花や虫、教室で飼っている生き物のことを家の人に知らせるために、よく見て文章を書くという学習の見通しをもつ。

<評価>

①観察したことを書いて知らせることに興味をもち、発表したりワークシートに書いたりしている。

《発言・ワークシート》

②中心学習材を基に、観察の視点や「見つけたよカード」の書き方を確かめる。

③「見つけたよカード」に書いたことを基に、「短冊カード」に一つの事柄につき、一つの文を書くことを学ぶ。

④「短冊カード」と照らし合わせながら学習材を視写したり繰り返し音読したりして、文章の構成を確かめる。

⑤共通題材をよく観察し、気付いたことを「見つけたよカード」に書く。(本時)

⑥「見つけたよカード」に書いたことを基に「短冊カード」を書く。

⑦「短冊カード」を並べ替え、考えた順序（伝えたい順、体の部分から全体へ等）で、文章の下書きを書く。

⑧書いた文章を句読点や文字に気を付けて読み返して間違いを直し、清書する。

<評価>

②中心学習材の「見つけたよカード」の内容から、観察の視点とカードの記入の仕方に気付いている。

《発言・カード》

③「見つけたよカード」から、一つの事柄について一文に書く方法を理解している。

《発言・カード》

④「短冊カード」を並べ替えて書く、という文章の構成を捉えている。

《発言・ワークシート》

⑤共通題材を観点に沿ってよく観察し、見つけた特徴を「見つけたよカード」に書いている。

《発言・カード》

⑥「見つけたよカード」を基に、主語を明らかにして一文に書いている。

《発言・カード》

⑦「短冊カード」を並べ替え、語と語の続き方を考えて文章を書いている。

《発言・ワークシート》

⑧句読点の打ち方や誤字・脱字に注意して、清書をしている。

《記録文用紙》

⑨自由題材で知らせたいものを視点に沿ってよく観察し、「見つけたよカード」に書く。

⑩「見つけたよカード」に書いたことを基に「短冊カード」を書き、「短冊カード」を並べ替えて文章を書く。

⑪書いた文章を友達と読み合ったり、家の人に読んでもらったりして、自分が書いた文章のよさに気付く。

<評価>

⑨自由題材を視点に沿ってよく観察し、気付いたことを具体的な言葉で「見つけたよカード」に書いている。

《カード》

⑩「短冊カード」を書き、順序を考え、並べ替えて文章を書いている。

《カード・記録文用紙》

⑪・友達と紹介し合い、よいところを伝え合っている。
・学習を振り返り、できるようになったことや、これから生かしていきたいことをまとめている。

《発言・ワークシート》

【主な手立て】

学校の周りの生き物探しをして関心を高めたり、飼っている生き物の世話を通して愛着を深めたりできるようにし、「家族に知らせたい」「書いてみたい」という思いを膨らませることで相手意識や目的意識を明確にもてるようにする。

「見つけたよカード」から「短冊カード」、学習材のモデル文へのつながりを確かめながら視写をすることや、モデル文を繰り返し音読することで、文章の構成を捉えられるようにする。

共通題材で学んだ書き方を生かして文章を書くようにする。書いた文章は、読み合ったり感想をもらったりして、身に付いた力を実感できるようにする。

5 本時の指導 (5/11時)

(1) ねらい

色, 形, 大きさといった観察の観点に沿って題材を詳しく観察し, 見つけた特徴を「見つけたよカード」に書くことができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示(◎)と 反応例(・), 学習内容	指導の手立て(○)と評価
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p>		<p>○前時までに書いたカードやワークシートを見て, 学習の流れを想起できるようにする。</p> <p>○学習計画表から本時の課題を確認し, 見通しをもって学習することができるようにする。</p>
<p>わかりやすくしらせるために, うさぎをよくかんさつして, 見つけたことを「見つけたよカード」にかこう。</p>		
<p>3 観察の観点や, 観察をするときに気を付けることを確かめる。</p> <p>4 「見つけたよカード」を書く。</p> <p>5 カードに書いたことをペアで交流する。</p> <p>6 全体で交流する。</p> <p>7 「見つけたよカード」に書き足す。</p>	<p>◎観察をするときの「かんさつのたいせつ」には, どんなものがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形は, 「～みたい」と書くと分かりやすいね。 ・触った感じには, 「ふわふわ」とか「さらさら」とかがあったよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【かんさつのたいせつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・大きさ ・さわったかんじ ・うごき </div> <p>◎よく観察して, カードに分かりやすい言葉で書きましょう。</p> <p>◎同じグループの友達と交流して, 見つけたことを紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛は, 茶色だけじゃなくて白いところもあるね。 ・動きのことも書くといいね。 <p>◎うさぎを観察して見つけたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳の形は, 長丸って書いたよ。 ・私は, 目の色は黒と書いたけど, こげ茶色の方が合っているかもしれないね。 	<p>○学習材のモデルや「言葉集めカード」等から, 観察の観点や, それぞれの観点の表現の仕方を確認する。</p> <p>○「言葉集めカード」の表現も参考にして, 具体的な言葉で書くことができるように促す。</p> <p>○言葉を書くことが難しい子には, 「毛の色は?」「目の形は?」等, 視点を絞って問いかけたり, 「言葉集めカード」から選ぶように声をかけたりする。</p> <p>○「かんさつのたいせつ」に沿ってペアで交流させることで, 見つけた観点に偏りがいないかを見合ったり, 新たな特徴に気付いたりすることができるようにする。</p> <p>○見つけた特徴を図に書き込んでいくことで, それぞれの部分について多様な表現があることに気付くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通題材を観点に沿ってよく観察し, 見つけた特徴を「見つけたよカード」に書いている。 <p style="text-align: center;">《発言・カード》</p> </div>
<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の学習を確認する。</p>		<p>○板書や自分が書いたカード等を見ながら, 詳しく観察することができたことを価値付け, 自己評価につなげる。</p> <p>○次時は, 「見つけたよカード」を基に「短冊カード」を書くことを知らせ, 意欲をもてるようにする。</p>